

第101回 研究倫理審査委員会【議事要旨】

日時 平成30年12月20日(木) 13時30分～14時40分

場所 本学 大会議室

出席者 (外部委員) 飯塚 雄一 委員
春日 順子 委員
鶴原 栄美子 委員
(内部委員) 秦 幸吉 委員長
岡安 誠子 副委員長
中川 忠彦 委員
橋本 由里 委員
藤田 小矢香 委員

※(五十音順)

(記録) 佐々木泰輔 (事務室管理課)

〈議事〉

1. 申請(4件)の審査について

1) No. 270

申請者：多々納 浩

課題名：食事のエネルギー密度に着目した満腹度及び満足度の世代間調査

結果：【変更の勧告】

(主なヒアリング内容)

(委員) 研究期間の平成がなくなるので西暦に修正されたい。

(申請者) 承知した。

(委員) 自由意思と自由意志が混在している。自由意思が適切だと思われる。

(申請者) 承知した。

(委員) 採血については誰が実施するか。

(申請者) 本学教員で医師の中山教授に依頼している。

(委員) 採血の際に体調不良になった場合はどうするか。

(申請者) 保健室で対応してもらいたい。

(委員) 比較的短時間に4回の採血をすることは一般的なことか。

(申請者) 項目数が少ないため、採血数も少ない部類である。

(委員) 採血は留置か。

(申請者) 留置ではなく、その都度、採血する。

(委員) 採血する場所はどこか。

(申請者) 本学の臨床実習室を考えている。

(委員) 緊急事態が発生した場合、近くに病院もない本学では対応が難しいことも考えられる。必要な措置がすぐにとれる施設で採血をしたほうが安全では無いか。

(申請者) 検討する。

(委員) 生化学検査について情報を外部に漏らさないことを記載されたい。また、対象者にしっかりフィードバックをされたい。

(申請者) 承知した。

2) No. 272

申請者：可知 朋子 (院生)

課題名：精神科看護師のうつ病患者に対する自殺リスクの予見と危機回避に至る体験

結果：【承認】

3) No. 271

申請者：勝部 愛子 (院生)

課題名：不妊外来に女性の葉酸摂取および食意識や食行動の検討

結果：【条件付き承認】

なお、結果を伝える際に、以下のことを申し添えた。

・ヒアリングで出た意見について検討いただき、修正いただいたものを、再度審査委員会で確認させていただきたい。

(主なヒアリング内容)

(委員) 調査票の回答項目の下線は必要か。既製品か。

(申請者) 既製品ではない。修正したい。

(委員) 依頼書のAとBの違いはなにか？

(申請者) 不妊に悩む人と妊婦さんでわけている。

(委員) エクセル栄養君を使用して調査をするようだが、研究対象者が答えやすいように説明することが可能か。回答は非常に難しいため栄養士に頼む等できないか。

(申請者) 検討したい。

(委員) 県立中央病院での依頼書には県立中央病院の倫理審査の結果を記載されたい。

(申請者) 承知した。

(委員) 研究参加の同意は調査票の回答をもって同意とみなすのか。2つの調査票は一緒に回答してもらうのか。

(申請者) エクセル栄養君の回答は後日に説明しながら回答していただく。

(委員) その場合は同意書が必要だと考えられる。

(申請者) 承知した。

4) No. 261

申請者：藤田 小矢香

課題名：睡眠時の芳香療法が規則的な月経周期の女性の自律神経機能に与える効果

結果：【承認】

2. 迅速審査で承認した申請（4件）の報告について

以下の4件について迅速審査で承認したことを秦委員長が報告した。

1) No. 269

申請者：平井 由佳

課題名：中学生の情動知能特性と協同作業に対する認識の関連

2) No. 261

申請者：橋本 和子（院生）

課題名：地域の社会活動と高齢者の認知機能との関連

3) No. 273

申請者：吾郷 美奈恵

課題名：学生FD活動と所属する大学への愛校心や満足度の関係

4) No. 268

申請者：大國 慧（院生）

課題名：熊本地震を経験した地域で生活する統合失調療養者のリカバリープロセス

～ 以上 ～

議事記録者名（事務室管理課：佐々木泰輔）